

■ニュース一(三分弱)

ワールド・ニュースです。

コロンビア大学のグスタフ・モンク海洋教授が提唱する『ビッグ・シー・プロジェクト』がG7の主要施策として採用されることになりました。

『ビッグ・シー・プロジェクト』は爆発的な人口増加問題の解決策として、海の積極的な活用を提唱する学説で、特に海底に大型の町と海洋ファームを作る『ランド・プラン』が注目を集めています。G7では『ランド・プラン』の実現可能性を含めて、今年の九月から検討することが決定しました。

また、一部の自然保護団体から自然環境に懸念があるとして各国でデモが起きており今後の動向が注目されます。

続いてのニュースです。

宇宙ステーションで誕生したカエルが知能を持っている可能性があるとなしNASAが発表しました。

NASAによるとカエルの交配実験は一九八〇年代から国際宇宙ステーションで三十年以上続けており、一三代目となる現世代が苔と藻を使って家造りと思われるような作業をしたり、実験作業をボイコットするような行為が見受けられるとのこと。

中にはカエルからのテレパシーで「アストラル」の単語が頭に浮かんだ乗組員もいるとの情報もあり、NASAは「同時期に宇宙ステーションに起きた怪光現象との関係性と合わせて今後調査する」とコメントしています。

終わりに今日の天気です。

今日は日中の最高気温が三十五度以上となる猛暑日になるでしょう。八月初旬に猛暑日が二百か所を超えるのはアメダス観測が始まった一九七八年以降、初めてのことで。猛烈な暑さは明日がピークで、明日の雨や雷雨のあと極端な暑さは収まる見込みです。猛暑日には室内でも熱中症になることがありますので、こまめな水分補給やエアコンの活用といった熱中症対策にお気をつけください。

■ニュース二(三分半)

自宅に放火した十八歳の女子高校生が昨日深夜、補導されました。

警察発表によると、自室にこもっていた娘は母親に「早く歯を磨いて寝なさい」と注意されたことに腹を立てて口論となり、自室に放火したとのこと。

娘は母親との口論の後、止めに入った父親とも言い合い、一旦家を飛び出した後、深夜一時頃に帰宅。自室内にタンスや机でバリケードを張り、自室のゴミ箱に火をつけました。火は煙に気付いた父親がドア

を破って部屋に入り、バケツで消火しました。消火する父に娘は「わたしのことは放っておいてくれ」などと叫び、さらに抵抗を続け、騒ぎを聞きつけた隣家によって通報されました。

警察の調べに対し、娘は「とにかく歯磨きしたくなかった」と証言。警察ではほかに動機がないか慎重に取り調べを続けています。

ワールドニュースです。

人口問題の打開策としてG7が協議を重ねていた『ビッグ・シー・プロジェクト』の実験プランがスタートしました。G7各国は実験施設を建設し、データを集約することで三年後の最終的なプロジェクト可否の判断につなげたいとしています。

海底に町と畑を作る『ランド・プラン』が日本のメイン実験となりますが、高品質と定評のある日本の農産物が海洋ファームでどこまで実現できるか世界の注目を集めています。

一方、国内では自然環境保護団体のデモのほか、「農業の工業化ではないか」「米文化が壊れる」「キウリは海で作れるのか」などといった農業関係者からも懸念の声があがっており、政府には引き続き丁寧な説明が求められています。

終わりに今日の天気です。

台風十号から変化した低気圧の影響で局地的に非常に激しい雨が降るでしょう。大雨のおそれがあり、低い土地の浸水や土砂災害に警戒が必要です。また、寒冷前線が本州を南下するため、東北から九州の日本海側は昼過ぎにかけて雨や雷雨となるでしょう。晴れ間が出る太平洋側も午後は急な雨や雷雨に注意が必要です。終日、傘が必要な一日となりますので、お出かけの際はお気をつけください。

### ■ニュース三(三分四十秒)

以前、話題となった宇宙カエルについて、国際生物学委員会は「知能およびテレパシー能力はない」との最終結論を発表しました。

国際生物学委員会によると「知能らしき片鱗はときおり見受けられるが、いわゆる一三以降の世代にはどれも再現性および個体共通性に欠け、知能を有するとは認められなかった」とコメント。一時騒然となった宇宙カエル事件もこれで収束すると見られています。

ただ、当時の乗組員の一部からは「五年前の宇宙カエルには明らかに知能があった。当時、宇宙ステーションであった怪光現象に知能やテレパシーをもたらす要因があったのではないか」と非公式コメントも一部メディアに寄せられており、最終的な謎は残っているとの声も上がっています。

ワールドニュースです。

人口問題の打開策として世界が注目している『ビッグ・シー・プロジェクト』が国連決議を通過し、世界政府として二〇三〇年の完成を目指したワールドプロジェクトがよいよスタートしました。

世界規模のプロジェクトに各ジャンルの優秀なスタッフが集められるのは一般的なことですが、今回のプロジェクトでは人間関係理論という新しい分野が注目されています。

深海という閉鎖空間では人間トラブルを回避するのが重要なリスク・マネージメントであるとの視点から、世界政府はベーシックテキストとして、東京大学・竹内美玲教授の『人間関係と個人心理における相対性紐理論』を採用。竹内教授もゼネラルマネージャーとしてプロジェクトに参加することが発表されました。竹内教授によると「パーソナルな視点から構築した私の理論が世界的なプロジェクトに採用される光栄です。個人的には海底でも美味しいキュウリを食べられるようにがんばりたい」とコメントしています。

日々の人間関係をマネージメントする人間関係理学士を軸としたチーム編成がプロジェクト成功の鍵を握るとあって、政府の人材発掘にますます拍車がかかりそうです。

終わりに今日の天気です。

今日は全国的に晴れて、雨雲もなく夏らしい一日になるでしょう。朝は雲の広がる所もありますが、日中は晴れて、にわか雨は山沿いの一部に限られそうです。最高気温は北日本も含めて三〇度以上の所がほとんどですが、猛暑日の所は少ないでしょう。

また、全国的に花火大会が多い今夜は雲ひとつなく絶好の花火日和になりそうです。南から流れている風は花火の煙を程よく流してくれ、夏の夜空に咲く一瞬の鮮やかな光を楽しめる夜になることでしょう。皆さん、よい夏の夜をお過ごしください。